

執筆要領

(2022年3月25日適用)

投稿原稿の作成は MS Word ファイルの「原稿ひな形.docx」の使用を推奨します。「原稿ひな形.docx」は、森林立地の Web サイトからダウンロード出来ます。詳細な執筆要領は以下を参照して下さい。

1 原稿の様式について

原稿は、縦A4版用紙に横書きで、上下左右それぞれ30mm程度の余白をとる。和文の場合は、11ポイントの明朝体フォントを用いて、1行40字×30行(1,200字)/頁に整える。刷り上がり1頁は、約2,700字になるので参考にすること。英文の場合は、11ポイントのTimes系のフォントを用いて、30行/頁に整える。

いずれの場合にも、すべての頁の下部中央に通しの頁番号を表示し、図表以外の頁の左側余白に行番号を表示する。

原稿の作成には MS-Word(最も望ましい)、一太郎、OpenOffice.org(Writer)を使用し、投稿時にはPDFファイルに変換すること。これら以外を使用の場合は、編集事務局と相談すること。また、ホームページに掲載する原稿見本も参照すること。

2 各項目の形式について

原稿は、表紙、要旨、本文、引用文献、図表リスト、図、表の順とし、それぞれを別葉とする。

1) 表紙

原稿の種別、表題、著者名、所属、及び連絡・別刷請求先の住所、メールアドレス(あれば)を記す。また、和英併記とする。著者名の英文表記は、名前、苗字の順とする。その他書式は、ホームページに掲載する原稿見本に従う(ホームページから書式を得られない場合は編集事務局に連絡すること)。

2) 要旨

「論文」、「総説」、「短報」の場合、英文と和文の要旨を付ける。和文要旨は600字程度まで、英文要旨は250語程度までとする。それぞれ5語以内のキーワードを付す。本文が和文の場合は英文要旨の、また、本文が英文の場合は和文要旨の文頭に、著者名と表題を付す。

3) 本文

①「論文」の場合、和文原稿では、章立てと節番号は「1. はじめに」、「2. 調査地」、「3. 方法」、「4. 結果」、「5. 考察」などとする。英文原稿では、「1. Introduction」、「2. Study site」、「3. Methods」、「4. Results」、「5. Discussion」などとする。節を小節に細分する場合には、1.1, 1.2, 1.3 とする。さらに小々節に細分する場合には、1.1.1, 1.1.2, 1.1.3 とする。「論文」以外の原稿では特に形式を定めない。

②和文表記は、新仮名づかいにより、学術用語以外は常用漢字を用いる。句読点は、「。」と「、」を用いる。英数字と括弧は半角を用いる。和文原稿中に欧語を用いるのは、真に必要な場合に限る。

③動植物の和名はカタカナ書きとし、学名はイタリック体とする。

④単位は、原則としてSI単位を用いる。数値と欧文文字の単位記号の間には、半角スペースを入れる。

⑤略号は慣例に従い、本文および図表の初出時には省略しない名称を記述する。

⑥文献の引用は、著者名に刊行年を続けた形式とし、青色の文字で表記する。例:1名の場合、(Smith,1993)またはSmith(1993)、2名の場合、(小林・松本, 1993)、(Amiro and Davis,1988)または小林・松本(1993)、Amiro and Davis(1988)、3名以上の場合、(小林ら, 1993)、(Lee *et al.*,1993)、または小林ら(1993)、Lee *et al.*(1993)。同一著者の同一年の報告を複数引用する場合は、発行日の若い順に記載し、年号に小文字のアルファベットを付けて区別する。

⑦図および表の引用は、和文では「図-1」、「表-1」(ハイフンは半角)、英文では「Fig. 1」、「Table 1」とする。写真は図として扱う。

⑧上付き文字、下付き文字、イタリック体などの文字飾りは、ワープロソフトの書式設定機能で指定し表示する。

4) 引用文献

①記載は、共著者を含めた著者名のアルファベット順、刊行年の古い順とする。

②著者名、刊行年、表題、雑誌名(書籍名、総ページ数、発行所および発行地名)、巻数、頁数を下記の要領で記す。雑誌名は略記せずに記す。

③Webサイトの引用は最低限にとどめ、引用する場合は引用文献リストに記載し、著者名、公表年、表題、URL、最終閲覧日を下記の要領で記す。著者は参照したWebページの内容を保管する。

有光一登・堀田庸 (1993) 森林と土壌. 234pp, 夕倉書店, 盛岡.

小林繁男 (1993) 熱帯林土壌の瘠悪化. (熱帯降雨林の土壌, 真下育久編, 385pp, 勝美堂, 東京). 280-333.

小林繁男・真下育久 (1980) スギ林土壌の物理性. 日本林学会誌 22:1-8.

Jackson, M. (2008) Management effects on the community structure and species richness of secondary woodland. *In* Proceedings of the Symposium on Forest Environment. Phelps, M., and Kitajima, K. (eds.), 212 pp, Society of Forest Environment Press, Beijing, 101-112.

松本陽介 (2002a) スギの光合成. 森林立地 44:2-7.

松本陽介 (2002b) ヒノキの光合成. 森林立地 44:18-19.

Tadaki, Y., Mashimo, Y., and Jackson, D.J. (1990)

Chamaecyparis forest production in Mt. Fuji. Japanese Journal of Forest Environment 31:12-20.(in Japanese with English summary)

Uchisiba, S., and Ishii, S. (2008) Vegetation Management. 240 pp, Yuukura Press, Tokyo.

林野庁 (2009) 我が国の森林と森林経営の現状-モントリオール・プロセス第 2 回国別報告書 - . <http://www.montrealprocess.org/documents/publications/general/2009ij.pdf>. (2013 年 12 月 15 日閲覧)

Forestry Agency, Japan (2009) State of Japan's Forests and Forest Management — 2nd Country Report of Japan to the Montreal Process — . <http://www.montrealprocess.org/documents/publications/general/2009je.pdf>. (Retrieved 31 March 2014)

5) 図表リスト

- ①表リスト, 図リストの順に記述する。
- ②図表リストには, 表題のほか, 説明書き(表題に続ける図表の補足説明)と脚注(図表の要素を注釈する但し書き)を記述することができる。説明書きと脚注は, 表題の末尾で改行した後に, 【説明書き】【脚注】などの目印に続けて記述する。表の脚注は, 表の本体ファイルに記入してもよいが, その場合にはこの図表リストには記載しない。

6) 表および図

- ①図表原稿は, A4 版用紙に, 刷り上がり相当の大きさで, 1 点ず

つ別葉に描く。刷り上がりの大きさは, X・Y 軸名および表題等を含めて, 1 段では横幅 85mm 縦長 250mm 以内, 2 段では横幅 175mm 縦長 250mm 以内であることを留意する。

- ②表においては, 原則として縦の罫線は使わない。
- ③図においては, 特に記号や文字が印刷後に鮮明に判別できるように, 線の太さ, 文字の大きさ, パターンの細かさ等に留意して作成する。また, カラー印刷を希望しない場合は, 原図も白黒で描く。
- ④写真は JPEG 形式とし, 白黒では 200dpi 以上, カラーでは 300dpi 以上の解像度とする。
- ⑤図表原稿の右肩には, 筆頭著者名と図表番号を記入する。さらに, カラー印刷を希望する場合, あるいは, 印刷所に図のトレースを希望する場合は, 原稿右肩に「カラー印刷希望」あるいは「トレース希望」と赤色で明記する。カラー印刷およびトレースの経費は, 著者による実費負担とする。

3 その他

上記に加えて, 以下の表記例も参照し, これに従う。
本要領に定められていない事項は, 最新号を参照し, 担当編集委員および編集事務局の指示に従う。

表記例

確認事項	「森林立地」で使用する表記の例	「森林立地」で使用しない表記の例
表題の日本人著者名の英文表記	Kazunori Shimada	Shimada, Kazunori ; Shimada Kazunori ; Kazunori SHIMADA
団体名の表記法	社団法人日本林業協会	(社) 日本林業協会, 日本林業協会
著者の所属の番号	1, 2, 3, ...	*, **, ***, ...
連絡・別冊請求先の明示	所属の番号に*を併記する(松本 潔 ^{1*)})	
現所属の表記法	所属の番号に†を併記する(松本 潔 ^{1†)})	
本文の節番号	1., 2., 3., ...	I., II., III., ...
節内の小節番号	1.1, 1.2, 1.3, ...	
小節内の小々節番号	1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, ...	
和文原稿の句読点	句点「。」と, 読点「, (全角カンマ)」	ピリオド「.」と読点「,」
図表と番号の間のハイフンは半角	図-1	図—1
数値と欧文文字単位記号の間には半角スペースを入れる	1.3 m, 0.76 ha 和文字単位の前には, 半角スペースを入れない, 2000 年, 94 年生	1.3m, 0.76ha, 2000 年, 94 年生
文献の引用で複数の著者名の英文表記に&は使わない	Maeda and Miyakawa	Maeda & Miyakawa
英数字と括弧は半角で統一する	(2001), A	(2001), A
4桁以上の数値は3桁ごとにカンマで区切る	1,535 mm	1535 mm
和文では負の符号には全角のマイナスを使う	-5.3	-5.3
英文では負の符号には半角のマイナスを使う	-5.3	-5.3
和文の「から」の表記は「～」	1～2	1-2, 1—2

を使う		
英文の「から」の表記は半角の「-」を使う	1-2	1~2, 1-2
引用文献リストの英文著者名表記	Utsugi, E.	Utsugi E, E. Utsugi
引用文献リストの雑誌名は略記しない	「日本森林学会誌」, 「日本生態学会誌」, Journal of the Japanese Forest Society	「日林誌」, 「日生態会誌」, J. Jpn. For. Soc.
引用文献リストの報告書類の表記	平成19年版森林・林業白書(スペースなし)	平成19年版_森林・林業白書(半角スペースを入れる), 平成19年版_森林・林業白書(全角スペース)

(本要領は、2022年3月23日に編集委員会の議を経て改定された。)